



# 取扱説明書



## 緊急地震速報 電話ページング装置 EDR-200A

このたびは「緊急地震速報電話ページング装置 EDR-200A」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。

お読みになったあとも大切に保管していただき、必要なときにお役立てください。



# もくじ

<b>安全にお使いいただくために</b> .....	<b>2</b>	<b>操作編</b> .....	<b>23</b>
<b>お使いになる前に</b> .....	<b>4</b>	<b>再生する</b> .....	<b>24</b>
セットの確認.....	4	地震速報放送アナウンス.....	24
製品の特長.....	4	テスト放送アナウンス.....	24
緊急地震速報について.....	4	<b>録音する</b> .....	<b>25</b>
ページング放送機能について.....	4	地震速報放送アナウンス.....	25
地震速報放送のイメージ.....	4	テスト放送アナウンス.....	27
FMラジオ局の周波数について.....	5	<b>送出音量を調節する</b> .....	<b>29</b>
停電について.....	5	<b>テスト放送</b> .....	<b>30</b>
<b>使用上の注意事項</b> .....	<b>6</b>	<b>消去する</b> .....	<b>31</b>
<b>各部の名前とはたらき</b> .....	<b>7</b>	<b>その他の操作</b> .....	<b>32</b>
<b>操作一覧</b> .....	<b>8</b>	ラジオを聴く.....	32
<b>設置・設定編</b> .....	<b>9</b>	バージョンを確認する.....	32
<b>設置</b> .....	<b>10</b>	ログを確認する.....	33
後面端子部の名前とはたらき.....	10	ログを消去する.....	35
各機器との接続のしかた.....	10	<b>主な仕様</b> .....	<b>36</b>
電源の接続.....	11	<b>故障とお考えになる前に</b> .....	<b>37</b>
構内交換機 (PBX) との接続.....	12	<b>保証とアフターサービス</b> .....	<b>裏表紙</b>
放送用アンプとの接続.....	12		
日課放送装置との接続.....	13		
<b>設定</b> .....	<b>14</b>		
FM ラジオの周波数を合わせる.....	14		
特番を設定する.....	16		
地震速報放送を設定する.....	17		
テスト放送を設定する.....	20		
遅延時間を設定する.....	21		
アラーム音の有無を設定する.....	22		

# 安全にお使いいただくために

ご使用前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。


## STOP お願い


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容および使用できない機能などの内容を示しています。


## ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。


## 警告 ご使用にあたって


 本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災・感電・故障の原因になります。


 本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。火災・感電・故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社「修理センター」にご依頼ください。


 本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社「修理センター」にご連絡ください。


## 警告 電源について

 AC100Vの電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。また、テーブルタップなどを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電・故障の原因になります。


 ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になります。


 電源アダプタは大切に扱ってください。コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社「修理センター」にご連絡ください。

 電源アダプタは添付のもの以外は使用しないでください。火災・感電の原因になります。


 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに確実に差し込んでください。また、定期的に電源アダプタをコンセントから抜いて、点検・清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因になります。


## 警告 設置場所や環境について 設置にあたって

 本装置のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社「修理センター」にご連絡ください。


 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因になります。


**警告** 設置場所や環境について  
設置にあたって


 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。  
火災・感電・故障の原因になります。


 アースは、確実に取り付けてください。  
故障や漏電があった場合、感電の原因となります。


**警告** こんなときは（対処のしかた）


 雷が鳴り出したら、本装置や電源アダプタ、アンテナには触れないでください。  
落雷による感電の原因になります。

 動作が異常、音が出ないなど故障状態のまま使用しないでください。  
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


 煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。  
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、煙がなくなることを確認して当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


 内部に水が入った場合は、使用しないでください。  
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


 本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。  
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

 床や壁の掃除などによって、電源アダプタやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。  
付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因になります。


**注意** 使用方法・設置環境について


 直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。  
内部の温度が上がり、火災の原因になります。


 密閉したところに置かないでください。また、テーブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。  
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。


 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。  
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

**お願い** 使用方法・設置環境について

 落としたり強い衝撃を加えないでください。  
機器の破損・故障の原因になることがあります。

 ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。  
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラぶきをしてください。

 極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。  
機器の破損・故障の原因になることがあります。

 テレビ・ラジオ・こたつ・アンブ・スピーカボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。  
機器の破損・故障の原因になることがあります。

- この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B
- 本装置の仕様は国内向けになっておりますので、規格の異なる海外でご使用いただくことはできません。  
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理いたします。  
ただし、本装置の故障・誤動作または不具合により、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご使用になれません。

# お使いになる前に

## セットの確認

次のものがそろっていることをご確認ください。万一、セットに足りないものがあつたり、取扱説明書に落丁・乱丁があつたときは、販売店または当社営業所へご連絡ください。当社営業所については当社ホームページ (<http://www.takacom.co.jp>) の「営業拠点」をご覧ください。

品名	数量
本体	1
電源アダプタ	1
FM アンテナ	1
変換プラグ	1
モジュラーコード 3m	1
取扱説明書	1

## 製品の特長

本装置は、FM ラジオ放送の「緊急地震速報」を受信し、放送用アンプやページング放送機能のある構内交換機を使用することで、地震の発生を知らせる「地震速報放送」を行える装置です。

この「地震速報放送」は、「緊急地震速報」の報知音（注）を受信して放送されます。

（注）報知音（NHK 式チャイム音）：「ピロンピロン、ピロンピロン」

- ※ 本書における「緊急地震速報」と「地震速報放送」について
- ・ 緊急地震速報：各 FM ラジオ局が放送する緊急地震速報
  - ・ 地震速報放送：緊急地震速報を受信して EDR-200A が実施する放送

「地震速報放送」は、受信した FM ラジオの放送内容や固定アナウンス／録音アナウンス（※）を選択して設定できます。

- ※ 固定アナウンス：あらかじめ本装置に登録してある内容  
録音アナウンス：任意に本装置に録音した内容

## 緊急地震速報について

緊急地震速報は地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる地震動の予報・警報です。

## ページング放送機能について

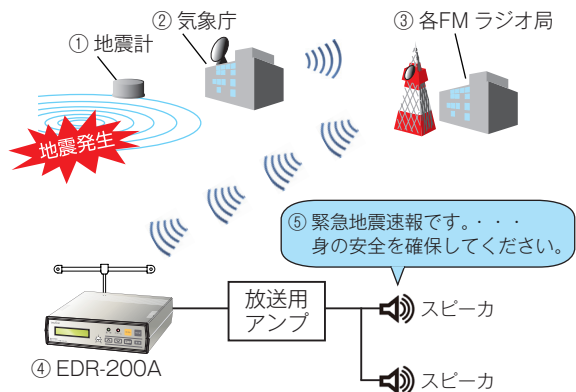
ページング放送機能とは内線電話機より特番をダイヤルすることで、接続した放送設備や内線電話のスピーカーから構内放送を行える電話交換機の機能です。

### STOP お願い

- 本装置を直接外線（NTT 回線等）と接続しないでください。本装置を直接外線と接続しても地震速報放送は行えません。

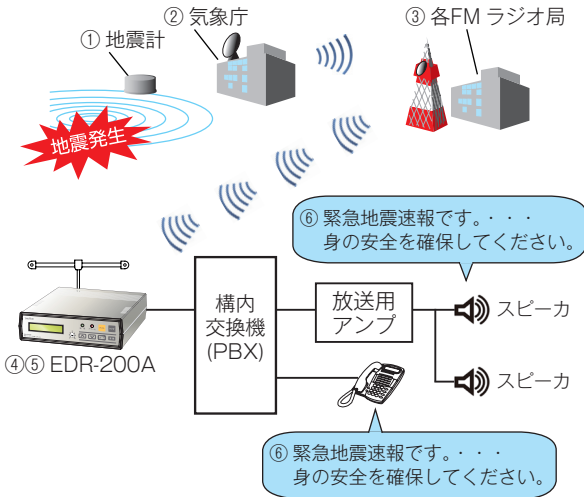
## 地震速報放送のイメージ

### ● 放送用アンプを使用する場合



- ① 地震計が地震を感じ
- ② 気象庁が地震の規模や到達時間を予測し発表
- ③ 各 FM ラジオ局が「緊急地震速報」を放送
- ④ 本装置が「緊急地震速報」の報知音を受信
- ⑤ 接続された放送用アンプから「地震速報放送」を実施

## ● 構内交換機 (PBX) を使用する場合



- ① 地震計が地震を感知
- ② 気象庁が地震の規模や到達時間を予測し発表
- ③ 各 FM ラジオ局が「緊急地震速報」を放送
- ④ 本装置が「緊急地震速報」の報知音を受信
- ⑤ 接続された構内交換機にページング放送用の特番をダイヤル
- ⑥ 電話機のスピーカまたは、構内交換機に接続された放送設備から「地震速報放送」を実施

## FMラジオ局の周波数について

- 本装置は、76.0～99.9MHzの周波数に対応しているため、通常のFMラジオ（76MHz～90MHz）に加えて、90.1MHz～95.0MHzのワイドFM（FM補完放送）が受信できます。
- 受信できるFM放送局の周波数については、当社のホームページに参考資料を掲載しています。下記からダウンロードしてご活用ください。

【タカコムホームページアドレス】

<http://www.takacom.co.jp/>

## 停電について

- 停電すると本装置は動作しません。
- 各種の設定値やログ情報は保存できます。ただし設定中の内容については保存できません。

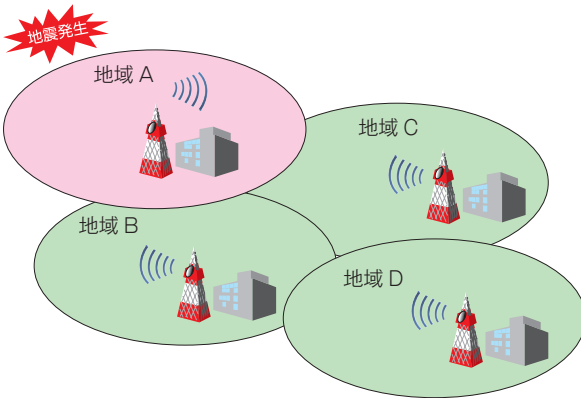
# 使用上の注意事項

- 地域やラジオ局によって緊急地震速報を放送する震度は異なります。
- 気象庁が地震の発生を予測できない、または予測の発表をしない場合、緊急地震速報は放送されません。
- ご使用になる地域で受信可能な FM ラジオ局が、**緊急地震速報を放送しているか**ご確認ください。
- NHK の FM ラジオ局は全国の緊急地震速報を放送するため、揺れが発生しない地域でも検知して地震速報放送を行う場合があります。
- ラジオ局の通常放送中に、緊急地震速報の報知音のような音が放送された場合は、誤検知して地震速報放送を行う場合があります。
- 地域やラジオ局によって震度5以下でも、緊急地震速報が放送され、地震速報放送を行う場合があります。
- 各 FM ラジオ局（NHK-FM 局および民放 FM 局 ※）の FM 放送が**正しく受信できない場合は**、地震速報放送は行いません。  
※ FM 補完中継局を含みます。
- ラジオ局が放送する緊急警報放送は緊急地震速報とは異なるため、緊急警報放送によって地震速報放送は行いません。
- 報知音を放送しない緊急地震速報を受信しても、地震速報放送は行いません。
- 本装置のテスト放送による放送中、または設定操作による設定中は、**緊急地震速報を検知しないため**、地震速報放送は行いません。
- 構内交換機がページング放送中の場合は、地震速報放送は行えません。
- 本装置は地震災害等によって発生する損害を軽減または回避するものではありません。
- 地震に起因する全ての損失や損害、および事故に関して、当社は一切その責任を負いません。
- 本装置の使用によって生じた損害について、当社は一切その責任を負いません。

## 【NHK-FM 局と民放 FM 局の緊急地震速報の放送イメージ】

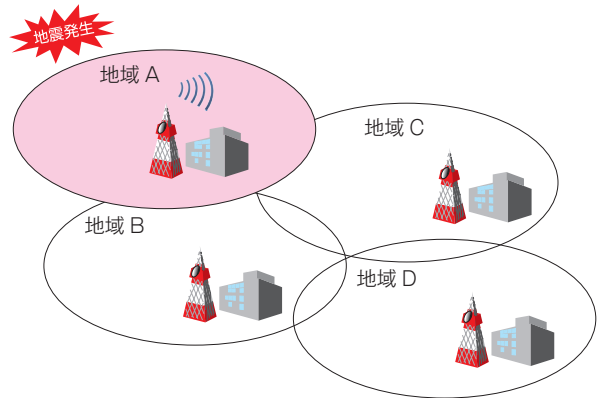
### 『NHK-FM 局』

地震発生後、気象庁が発表した緊急地震速報を、対象となる地域 A だけでなく、対象外の地域 B,C,D のそれぞれの NHK-FM 局が放送する場合があります。



### 『民放 FM 局』

地震発生後、気象庁が発表した緊急地震速報を、対象となる地域 A の民放 FM 局が放送します。地域情報となる緊急地震速報の特性により、通常は他の地域の民放 FM 局では放送されません。

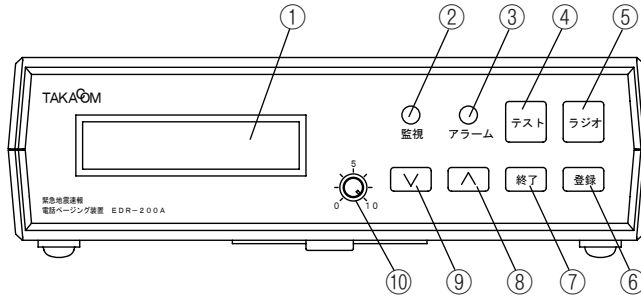


本装置の地震速報放送については、情報発信元である NHK ラジオ局と民放ラジオ局が責任を負うものではありません。

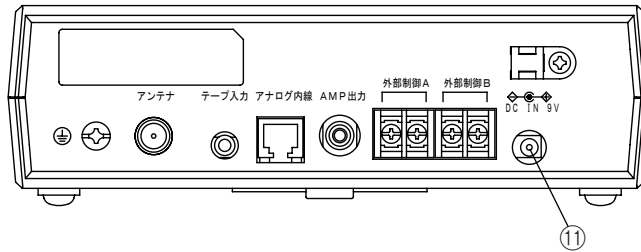


# 各部の名前とはたらき

## 前面



## 後面



※後面、接続端子などの「名前とはたらき」は、「設置・設定編 設置」(10ページ)を参照してください。

番号	名称	主なはたらき
1	ディスプレイ	システムの動作状態や設定内容のメニュー項目などを表示します。
2	監視ランプ	緊急地震速報が検出できる状態(監視状態)のときに緑で点灯します。
3	アラームランプ	本装置に異常が発生した状態(アラーム状態)のときに赤で点灯します。
4	テストボタン	音源内容を出力系統(アナログ内線/AMP出力/内蔵スピーカ)にて送出して確認するときに押します。
5	ラジオボタン	本装置の内蔵スピーカからラジオ放送を流して、ラジオの受信状態を音で確認するときに押します。
6	登録ボタン	各種の設定項目を決定するときや設定値を登録するときに押します。
7	終了ボタン	地震速報放送やテスト放送、ラジオ放送の停止、各種の設定や録音を終了するときなどに押します。
8	上ボタン	メニュー項目や設定値を昇順に選択するときに押します。
9	下ボタン	メニュー項目や設定値を降順に選択するときに押します。
10	スピーカボリューム	内蔵スピーカから出力される再生音量を調節します。(0(最小)~10(最大))
11	電源ジャック	電源アダプタを接続します。

# 操作一覽

## ■ 本体装置の設定項目一覽

監視状態中にボタンを操作することで表示されるメニュー項目は下記になります。

メニュー項目		説明	参照ページ		
1.FM ラジオ センキョク		FM ラジオの周波数を選局します。	14		
2.トバツ		内線番号を設定します。	16		
3.ジ シツカク かつウ	3-1. シュベツ	地震速報放送用放送種別 (ラジオ放送/アナウンス放送) を設定します。	17		
	3-2. ラジオジカ	地震速報放送用ラジオ放送の時間を設定します。	17		
	3-3. アナウス かつウ	地震速報放送用アナウンス放送の報知音の使用有無を設定します。	18		
	3-4. アナウス カイウ	地震速報放送用アナウンス放送の送出回数を設定します。	19		
	3-5. アナウス サイエイ	地震速報放送用のアナウンス内容を再生します。	24		
	3-6. アナウス ロウオン	[トウク] ショウキョ: シナイ 地震速報放送用アナウンスを録音します。 地震速報放送用アナウンスを消去します。	25 31		
4. テスト かつウ	4-1. アナウス かつウ	テスト放送用アナウンス放送の報知音の使用有無を設定します。	20		
	4-2. アナウス カイウ	テスト放送用アナウンス放送の送出回数を設定します。	20		
	4-3. アナウス サイエイ	テスト放送用のアナウンス内容を再生します。	24		
	4-4. アナウス ロウオン	[トウク] ショウキョ: シナイ テスト放送用アナウンスを録音します。 テスト放送用アナウンスを消去します。	27 31		
5. かつウ チン		ページングやアンプの起動までのタイムラグを設定します。	21		
6. アラーム オン		各種アラーム音の鳴らす/鳴らさないを設定します。	22		
7. ソウシュツ オリヨク	7-1. ラジオ	ラジオの送出音量を設定します。	29		
	7-2. アナウス	アナウンスの送出音量を設定します。	29		
8. ファームウェアバージョン		本体装置のプログラムバージョンを表示します。	32		
9. カク	9-1. カニン	ジ シツカク かつウ	セイコウ	地震速報放送の成功回数を表示します。	33
		ジ シツカク かつウ	シツパイ	地震速報放送の失敗回数を表示します。	33
		ジ シツカク かつウ	シゴウベル テイカ	信号レベル低下エラーの回数を表示します。	34
	9-2. ショウキョ	ホウ	起動回数を表示します。 ログを全消去します。	34 35	

## ■ ボタン操作をしないでいると

約2分間、ボタン操作をしないでいると、登録などの操作中のときは自動的に操作を終了します。また監視中やエラー動作中のときは、誤操作防止状態になります。

### 誤操作防止機能について

- 誤操作防止機能とは、「誤って装置のボタンを触れてしまったことによる誤操作を防止する機能」です。
- 本装置は約2分間ボタン操作を行わないと、誤操作防止機能が動作して、通常のボタン操作ができなくなります。

【誤操作防止状態の例】

① 初期画面のとき



② 監視画面のとき



- 誤操作防止状態から操作したい場合は、操作するボタン (登録) (終了) (※) / (ラジオ) / (テスト) のいずれかを3秒以上押し続けてください。

※ アラームが鳴っているエラー動作時のみボタン操作が有効

① 初期画面のとき



② 監視画面のとき



その後は押し続けたボタンにしたがって動作します。

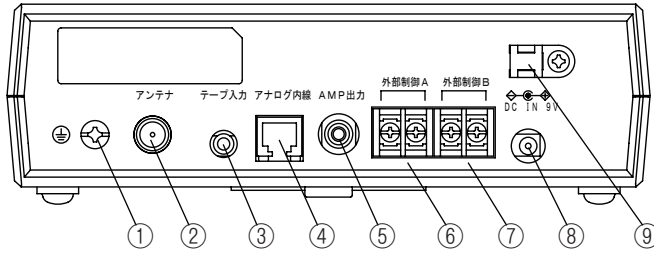
- 監視状態の誤操作防止状態で、緊急地震速報を受信すると、自動的に誤操作防止状態が解除され、アナウンスが放送されます。放送終了時は、自動的に誤操作防止状態になります。

# 設置・設定編

# 設置

## 後面端子部の名前とはたらき

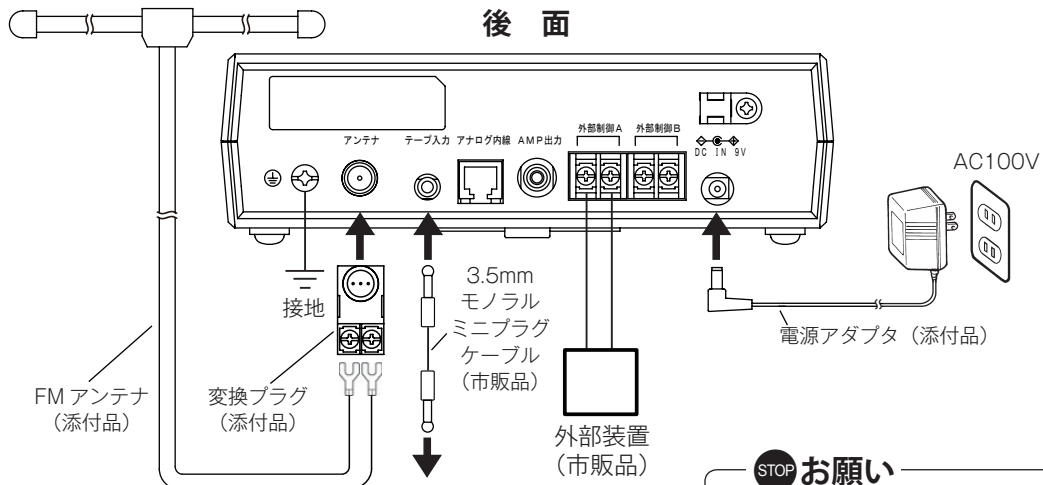
### 後面



番号	名称	機能 (はたらき)	仕様 / 接続条件
1	接地端子	安全のための接地端子です。	
2	アンテナ端子	FM アンテナを接続します。	・インピーダンス：75 Ω、不平衡
3	テープ入力ジャック	市販の外部音源の入力ケーブルを接続するためのジャックです。	・インピーダンス：10k Ω、不平衡 ・レベル：-10dBV (3.5mm モノラルミニジャック)
4	アナログ内線接続ジャック	構内交換機 (PBX) へのモジュラーコードを接続するためのジャックです。	・モジュラー接続
5	AMP 出力ジャック	市販の放送用アンプなどを接続するためのジャックです。	・インピーダンス：600 Ω、平衡 ・レベル：-5dBm (ピンジャック) ・送出最大音量：Vol8
6	外部制御端子 A	外部装置 (回転灯や表示灯など) を接続して制御するための端子です。	・無電圧メーク接点で出力 ・接点容量：DC30V 500mA 以下
7	外部制御端子 B	市販の放送用アンプを接続して起動するための制御端子です。	・無電圧メーク接点で出力 ・接点容量：DC30V 500mA 以下
8	電源ジャック	電源アダプタを接続します。	・入力：AC100V ± 10V (50/60Hz) ・出力：DC9V (600mA)
9	配線結束具	外部装置などに接続した配線を固定します。	

## 各機器との接続のしかた

### ■ 共通部



添付品の FM アンテナと変換プラグは、市販のプラスドライバーなどで接続してください。

◎ 音源出力端子  
外部音源

### STOP お願い

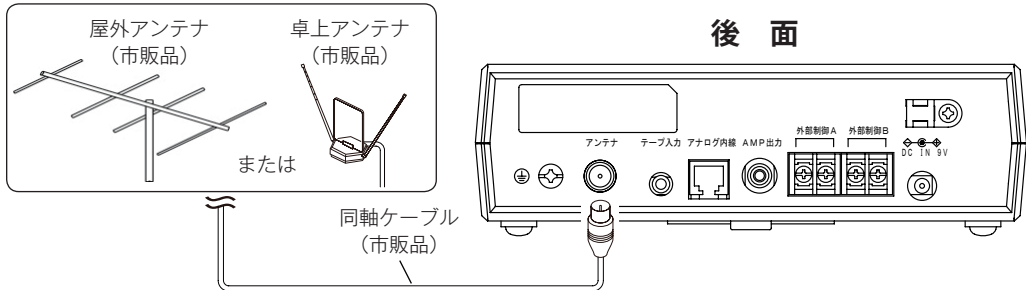
- 落雷や故障などによる感電を避けるため、必ず接地をしてください。

## ■ アンテナについて

本装置に付属のFM アンテナを接続してください。アンテナはFM 放送の受信を妨げるような遮蔽物が存在しない場所など、**受信状態の良い場所に設置してください**。また付属のFM アンテナでは良好な受信状態が得られない場合は、設置状況にあわせて別途市販の外部アンテナ（卓上アンテナや屋外アンテナ）をご用意ください。

- ※ 受信状態については、「適切な受信レベル」（15 ページ）を参照してください。
- ※ 推奨屋外アンテナ：家庭用 FM アンテナ 中電界（中距離）FM5（マスプロ電工）

### 【外部アンテナを使用したときの設置例】



## 📢ワンポイント

- 地上波デジタルテレビのアンテナや衛星アンテナでは緊急地震速報は受信できません。FM 放送が受信できるアンテナを使用してください。
- 付属のFM アンテナや市販の卓上アンテナを窓際近くに設置する場合、大型トラックなどが停車することで、緊急地震速報を受信する際の遮蔽物となり、緊急地震速報を正常に受信できない場合があります。**アンテナの設置場所には十分ご注意ください**。
- 音声に雑音があると緊急地震速報を正常に受信できない場合があります。「設定 FM ラジオの周波数を合わせる」（14 ページ、15 ページ）を参照して、音声に雑音がないようにアンテナを調整してください。

## 電源の接続

電源アダプタを AC100V に接続します。本装置には電源スイッチがありませんので、接続すると電源が入ります。添付の電源アダプタ以外は使用しないでください。火災などの原因になります。

### ● 電源を入ると

電源を入ると、ディスプレイは右のように表示し、約 3 秒後に【初期画面】または【監視画面】になります。

\*\*\* EDR-200A \*\*\*

FM ラジオの周波数が選局されていないとき ↓ FM ラジオの周波数が選局されているとき (84.8MHz に選局されている例)

【初期画面】

センキョク シテタ サイ

【監視画面】

84.8MHz 📶

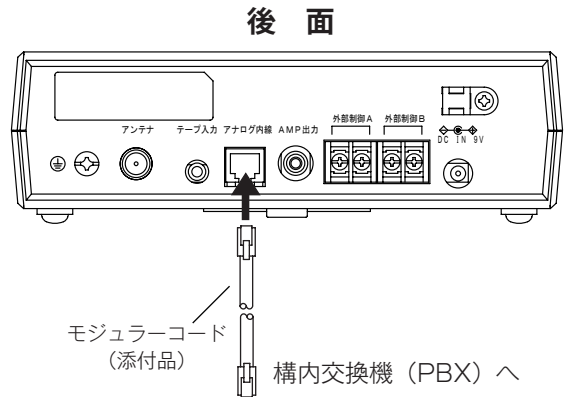
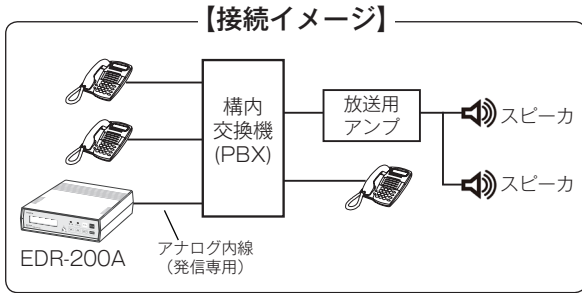
※ 以下、本書の監視画面の例は、84.8MHz に選局されている例とします。

## 🛑お願い

- 電源を切るときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。

## 構内交換機 (PBX) との接続

本装置にページング放送のためのアナログ内線を用意して、**発信専用回線**としてください。ページング放送を行うためには、構内交換機のシステム構成設定が必要です。設定方法については、構内交換機のマニュアルを参照してください。



### STOP お願い

- 本装置を直接外線 (NTT 回線等) と接続しないでください。本装置を直接外線と接続しても地震速報放送は行えません。
- 本装置に接続するアナログ内線は、ページング放送専用 (発信専用) としてご使用ください。電話機を並列に接続したり本装置に着信した場合、緊急地震速報を検知しても、地震速報放送が正しく放送されない場合があります。

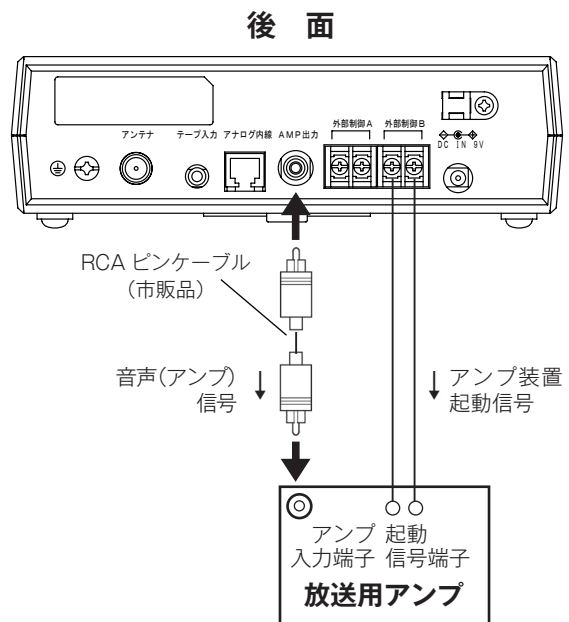
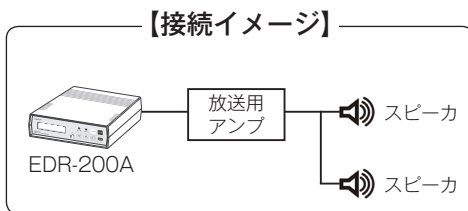
## 放送用アンプとの接続

### ● 音声 (アンプ) 信号

- ・ RCA ピンケーブルで接続してください。
- ・ 本体装置からの出力を調節します。「操作編 送出音量を調節する」(29 ページ) を参照してください。

### ● アンプ装置起動信号

- ・ 無電圧メーク接点で出力します。
- ・ 接点容量は、DC30V500mA 以下です。



### 👉 ワンポイント

- 放送用アンプと接続する場合は、特番は使用しません。特番の設定については、初期値 (設定なし) でご使用願います。詳細は「特番を設定する」(16 ページ) を参照してください。

## 日課放送装置との接続

本装置と当社の日課放送装置（別売品）と連携して、地震速報放送が行えます。このとき、日課放送装置には以下の設定が必要です。

- ・外部チャイムの継続時間：「地震速報放送のアナウンス秒数」
- ・リモート放送の使用：使用する
- ・リモート端子の設定（開始チャイム）：外部チャイム

設定値の詳細内容や設定方法については、日課放送装置の取扱説明書を参照してください。

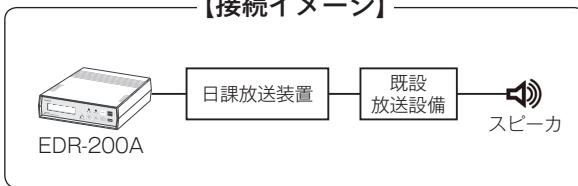
### ● 音声（アンプ）信号

- ・RCAピンケーブルで接続してください。
- ・本体装置からの出力を調節します。「操作編 送出音量を調節する」(29ページ)を参照してください。

### ● リモート放送信号

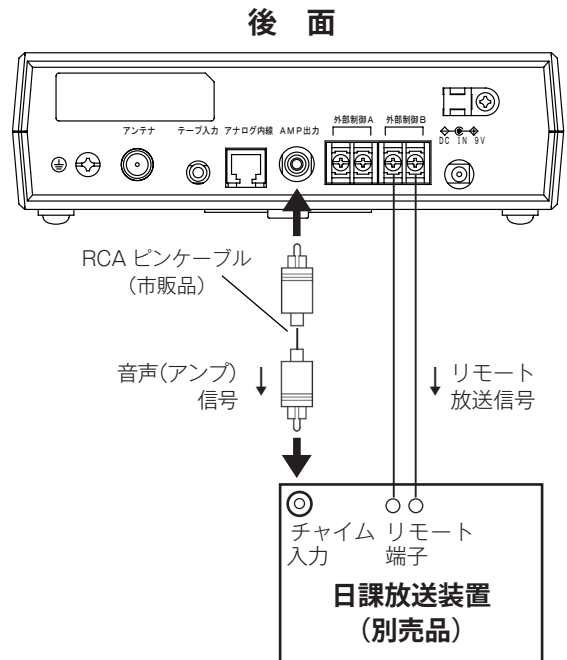
- ・無電圧メーク接点で出力します。
- ・接点容量は、DC30V500mA以下です。

#### 【接続イメージ】



#### ワンポイント

- 日課放送装置（別売品）のチャイム制御端子への接続は不要です。



# 設定

## FM ラジオの周波数を合わせる

緊急地震速報を受信する FM ラジオ局の周波数を選局します。

・設定範囲：76.0～99.9MHz 初期値：--.-MHz

### ■ 初期画面から選局する

※ 登録例は「84.8MHz」の例です。

1 初期画面のとき、**登録**を押します。

センキョク シテクダサイ



\* “-” は点滅します。

--.-MHz 点滅します。

点滅します。

2 **▼**/**▲**で、周波数を選局します。

--.-MHz 点滅します。



\* **▲**を押すと 76.0MHz / **▼**を押すと 99.9MHz から動作します。

\* 数字は点滅します。

84.8MHz 点滅します。

点滅します。

### STOP お願い

- FM ラジオの周波数を選局する場合、突然の高音量が出ないように、内蔵スピーカの音量を小さくした状態から選局してください。

--.-MHz 点滅します。



小さくした状態から選局してください。

3 **登録**を押します。

84.8MHz 点滅します。



\* 【1.FMラジオ センキョク】が表示されます。

1.FMラジオ センキョク

4 **終了**を押して周波数を登録します。

1.FMラジオ センキョク



\* 数字が点灯します。

\* 監視画面が表示されます。

84.8MHz 点灯します。

点灯します。

### ■ 監視画面から選局する

※ 登録例は「84.8MHz → 80.0MHz」の例です。

1 監視画面のとき、**登録**を押します。

84.8MHz 点滅します。



\* 【1.FMラジオ センキョク】が表示されます。

1.FMラジオ センキョク

2 **登録**を押して、**▼**/**▲**で、周波数を選局します。

84.8MHz 点滅します。



\* 数字は点滅します。

80.0MHz 点滅します。

点滅します。

3 **登録**を押します。

80.0MHz 点滅します。



\* 周波数が登録されます。

\* 【1.FMラジオ センキョク】が表示されます。

1.FMラジオ センキョク

4 **終了**を押して監視画面を表示します。

1.FMラジオ センキョク



\* 変更された周波数が表示されます。

80.0MHz 点灯します。

点灯します。

### ワンポイント

- **▼**/**▲**を短く押すと 0.1MHz ずつ変化し、3 秒間押し続けると 1.0MHz ずつ連続で変化します。



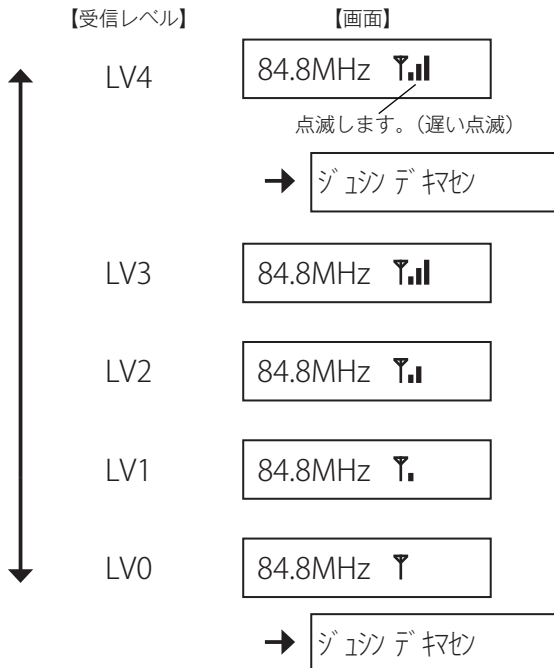
● 受信レベルが適切でないと…

FM ラジオの受信レベルが LV0 または LV4 の状態のときは、緊急地震速報が検出できない可能性があるため、LV0 または LV4 の状態が 2 秒継続すると、アラーム音と LED ランプで警告します。

※ 画面は「84.8MHz」に選局されている例です。

- ・アラーム音 : 「ピピ、ピピ、…」
- ・LED ランプ :

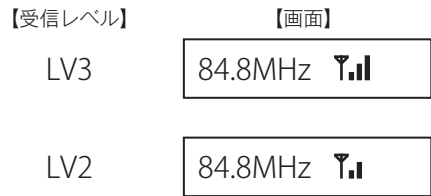
名称	動作
監視ランプ	消灯
アラームランプ	早い点滅



アラーム音は「終了」ボタンを押すと鳴りやみます。  
 受信レベルが低下した場合は、FM ラジオの周波数を変更するか、アンテナの状態や本装置の設置場所を調整してください。

● 適切な受信レベル

FM ラジオの受信レベルは LV2 または LV3 の状態になるように、アンテナの状態や本装置の設置場所を調整してください。



STOP お願い

- 大型トラックなどが停車するような窓際近くにアンテナを設置しないでください。適切な受信レベルに設定しても、大型トラックなどが遮蔽物となり受信レベルが緊急地震速報を検出できないレベルに変化することで、緊急地震速報が正常に受信できないことがあります。

👉 ワンポイント

- LV0 または LV4 の状態のときに出力される下記のエラー画面は、監視状態中に表示され、FM ラジオの選局中には表示されません。

ジューン デ キマセ

## 特番を設定する

本装置と内線接続した構内交換機 (PBX) に対して、ページング用特番にダイヤルして音源 (ラジオ/アナウンス) を放送できます。

ページング用特番については、ご使用の構内交換機の取扱説明書を参照願います。

- 登録桁数：最大 8 ケタ 選択範囲：0~9、\*、#、E  
初期値：E (設定なし)

※登録する特番の例は「設定なし→ 100」の例です。

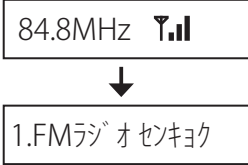
### STOP お願い

- 特番の設定は、本装置を構内交換機 (PBX) に接続する場合に必要となります。本装置を放送用アンプに接続する場合は設定しないでください。

**1** 構内交換機 (PBX) とのアナログ内線が、本装置に接続されていることを確認してください。

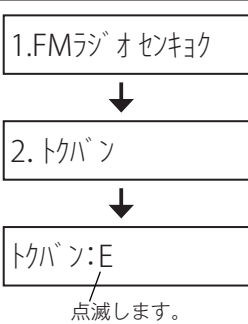
- ・接続方法については、「設置・設定編 設置」(10 ページ)を参照してください。

**2** 監視画面のとき、**登録** を押します。



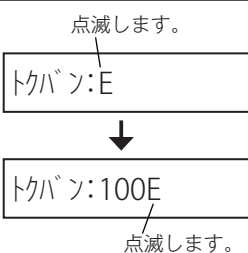
- \* 【1.FMラジオセキョク】が表示されます。

**3** **▽**/**△** で「2.トクバン」を選択して、**登録** を押します。



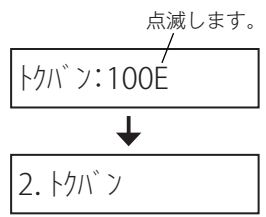
- \* 【トクバン:E】が表示されます。
- \* 「E」は点減します。

**4** **▽**/**△** で、値を設定し、**登録** を押します。



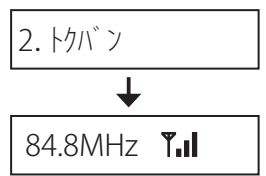
- \* **登録** で 1 桁設定します。
- \* **終了** で 1 桁削除します。

**5** “100E” の状態で **登録** を押します。



- \* 特番が登録されます。
- \* 【2.トクバン】が表示されます。

**6** **終了** を押して監視画面を表示します。



### ワンポイント

- 設定値の“E”はENDを表します。設定した特番の最後に必ず設定してください。
- 特番が登録されているときに、構内交換機 (PBX) とのアナログ内線が接続されていない場合は、下記の画面を出力します。(アラーム音の設定が、“アリ”の場合はアラームを鳴らします。)

がセキョク

- アナログ内線と AMP 出力への同時出力はできません。特番の設定有無により、放送できる出力系統が以下になります。

出力系統	特番あり	特番なし
アナログ内線	○	×
AMP 出力	×	○
内蔵スピーカ	○	○

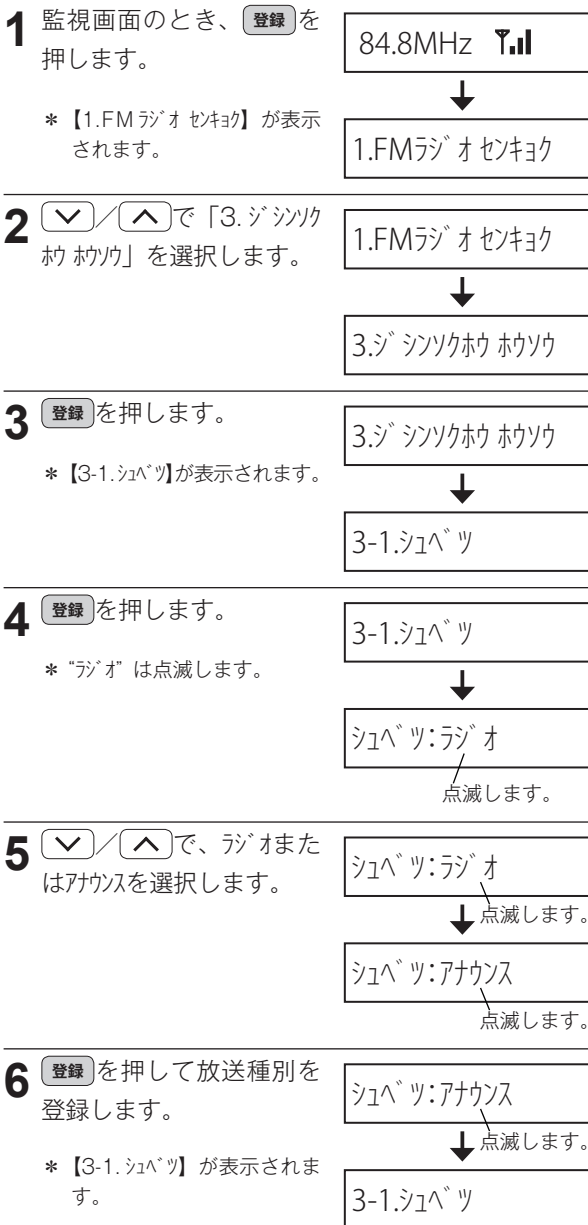
## 地震速報放送を設定する

### ■ 放送種別の設定

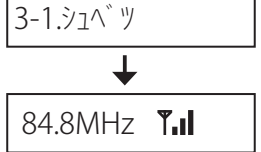
緊急地震速報を受信したときに、あらかじめ選局したFMラジオの音声を送出する（ラジオ放送）か、あらかじめ本装置に録音したアナウンスを送出する（アナウンス放送）かを設定します。

・ 設定範囲：ラジオ/アナウンス 初期値：ラジオ

※ 登録例は「ラジオ放送→アナウンス放送」の例です。



7 **終了**を複数回押して監視画面を表示します。



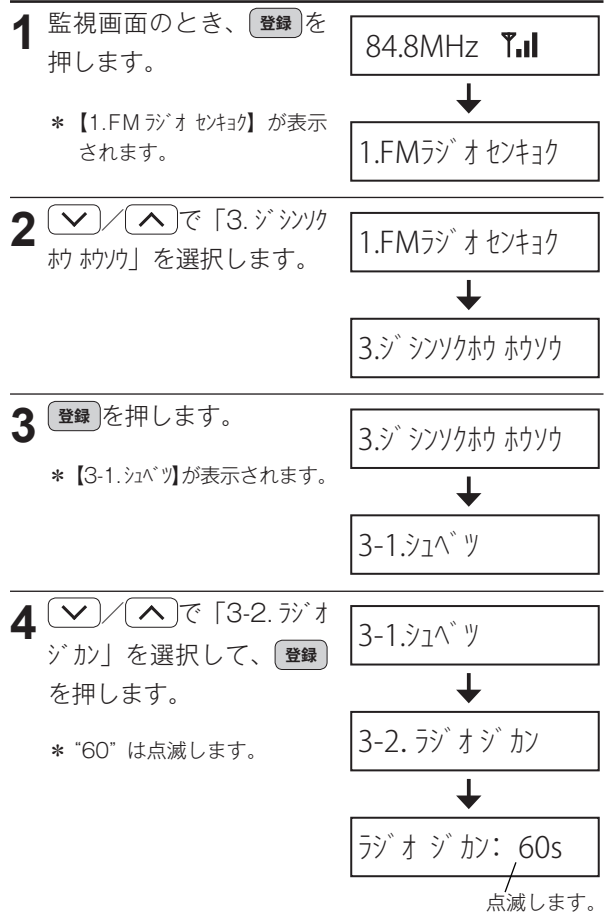
### ■ ラジオ放送の設定

#### ● 放送時間の設定

放送種別が「ラジオ放送」の場合に、放送時間を設定します。（アナウンス放送のときは、本設定は無効です。）

・ 設定範囲：60~180 秒 初期値：60 秒

※ 登録例は「120 秒」の例です。



5 / で、ラジオ時間を設定します。

ラジオジカ: 60s

↓ 点減します。

\* "120" に変更します。

ラジオジカ: 120s

↓ 点減します。

6 を押してラジオ時間を登録します。

ラジオジカ: 120s

↓ 点減します。

3-2. ラジオジカ

\* 【3-2. ラジオジカ】が表示されます。

7 を複数回押して監視画面を表示します。

3-2. ラジオジカ

↓

84.8MHz

### ワンポイント

- / を短く押すと1秒ずつ変化し、3秒間押し続けると10秒ずつ連続で変化します。

## ■ アナウンス放送の設定

### ● 報知音の使用有無の設定

あらかじめ録音済みの報知音（NHK 式チャイム音）をアナウンスの前に組み合わせて送出するかどうかを設定します。（ラジオ放送のときは、本設定は無効です。）

・設定範囲：アリ（1カ）/ アリ（クカエ）/ ナシ 初期値：ナシ

※ 登録例は「ナシ→アリ（クカエ）」の例です。

1 監視画面のとき、 を押します。

84.8MHz

↓

1.FMラジオセンキョク

\* 【1.FMラジオセンキョク】が表示されます。

2 / で「3.ジソクホウホウ」を選択します。

1.FMラジオセンキョク

↓

3.ジソクホウホウ

3 を押します。

3.ジソクホウホウ

\* 【3-1.シュベツ】が表示されます。

↓

3-1.シュベツ

4 / で「3-3.アナウンスホウチオン」を選択して、 を押します。

3-1.シュベツ

↓

3-3.アナウンスホウチオン

↓

ホウチオン: ナシ

↓ 点減します。

5 / で、アリ（1カ）/ アリ（クカエ）/ ナシを選択します。

ホウチオン: ナシ

↓

ホウチオン: アリ（クカエ）

↓ 点減します。

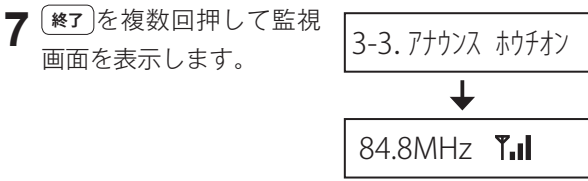
6 を押して報知音の使用有無を登録します。

ホウチオン: アリ（クカエ）

↓

3-3. アナウンスホウチオン

\* 【3-3. アナウンスホウチオン】が表示されます。



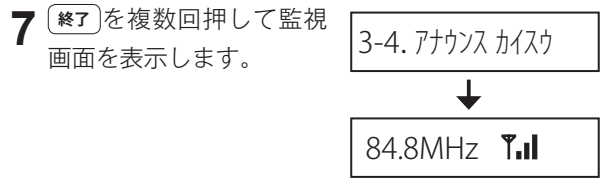
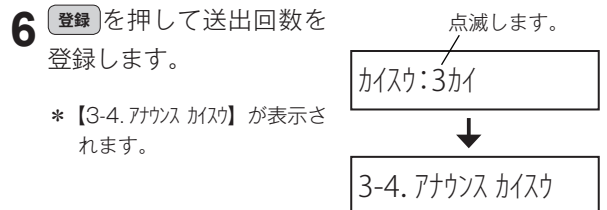
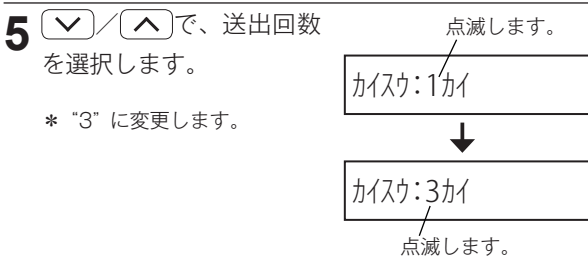
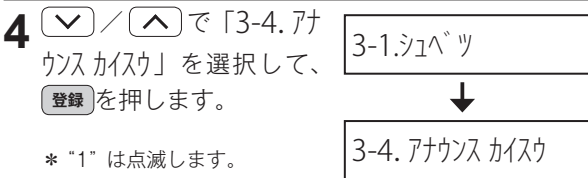
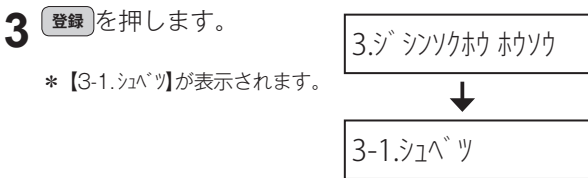
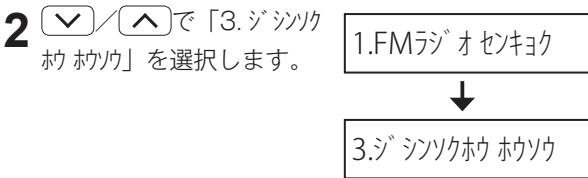
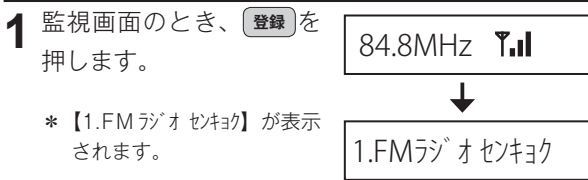
● 送出回数の設定

アナウンス放送で送出するアナウンスの送出回数を設定します。

(ラジオ放送のときは、本設定は無効です。)

・設定範囲：1～9回 初期値：1回

※ 登録例は「1 → 3」の例です。



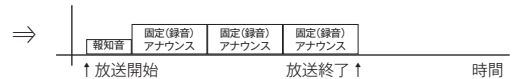
アナウンスの放送イメージについて

● 報知音の使用有無とアナウンスの送出回数について、設定例と放送イメージを以下に示します。

【設定例1】

- ・報知音の使用有無：“アリ(1カイ)”
- ・送出回数：“3”

【放送イメージ】



【設定例2】

- ・報知音の使用有無：“アリ(ｸﾘｶヾ)”
- ・送出回数：“3”

【放送イメージ】



📌 ワンポイント

● 本装置には工場出荷時から、以下の報知音と固定アナウンスが録音されています。

【報知音】(NHK 式チャイム音：約3秒)  
「ピロンピロン、ピロンピロン」

【固定アナウンス】(約9秒)

「緊急地震速報です。間もなく地震がきます。強い揺れに警戒してください。身の安全を確保してください。」

## テスト放送を設定する

### ■ 報知音の使用有無の設定

あらかじめ録音済みの報知音（NHK 式訓練用音源）をアナウンスの前に組み合わせて送出するかどうかを設定します。

・設定範囲：アリ (1カ)/ アリ (クカE)/ ナシ 初期値：ナシ

※ 登録例は「ナシ→アリ (1カ)」の例です。

**1** 監視画面のとき、**登録**を押します。

84.8MHz

\* 【1.FMラジオセンキョク】が表示されます。

1.FMラジオセンキョク

**2** / で「4.テスト 柵ウツ」を選択します。

1.FMラジオセンキョク

4.テスト 柵ウツ

**3** **登録**を押します。

\* 【4-1.アナウンス 柵ウツ】が表示されます。

4.テスト 柵ウツ

4-1.アナウンス 柵ウツ

**4** **登録**を押します。

\* “ナシ” は点滅します。

4-1.アナウンス 柵ウツ

柵ウツ:ナシ

点滅します。

**5** / で、アリ (1カ)/ アリ (クカE)/ ナシを選択します。

\* “アリ (1カ)” に変更します。

柵ウツ:ナシ

点滅します。

柵ウツ:アリ (1カ)

点滅します。

**6** **登録**を押して報知音の使用有無を登録します。

\* 【4-1.アナウンス 柵ウツ】が表示されます。

柵ウツ:アリ (1カ)

点滅します。

4-1.アナウンス 柵ウツ

**7** **終了**を複数回押して監視画面を表示します。

4-1.アナウンス 柵ウツ

84.8MHz

### ■ 送出回数の設定

テスト放送で送出するアナウンスの送出回数を設定します。

・設定範囲：1～9回 初期値：1回

※ 登録例は「1→3」の例です。

**1** 監視画面のとき、**登録**を押します。

84.8MHz

\* 【1.FMラジオセンキョク】が表示されます。

1.FMラジオセンキョク

**2** / で「4.テスト 柵ウツ」を選択します。

1.FMラジオセンキョク

4.テスト 柵ウツ

**3** **登録**を押します。

\* 【4-1.アナウンス 柵ウツ】が表示されます。

4.テスト 柵ウツ

4-1.アナウンス 柵ウツ

**4** / で「4-2.アナウンス カイスウ」を選択して、**登録**を押します。

\* “1” は点滅します。

4-1.アナウンス 柵ウツ

4-2.アナウンス カイスウ

カイスウ:1カ

点滅します。

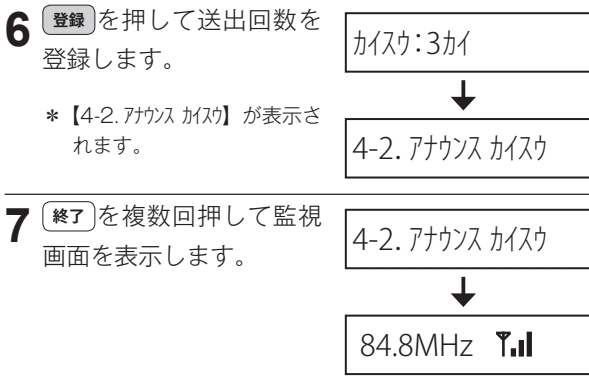
**5** / で、送出回数を選択します。

\* “3” に変更します。

カイスウ:1カ

カイスウ:3カ

点滅します。



**ワンポイント**

- 報知音とアナウンス回数については、「アナウンスの放送イメージについて」(19 ページ) を参照してください。

**ワンポイント**

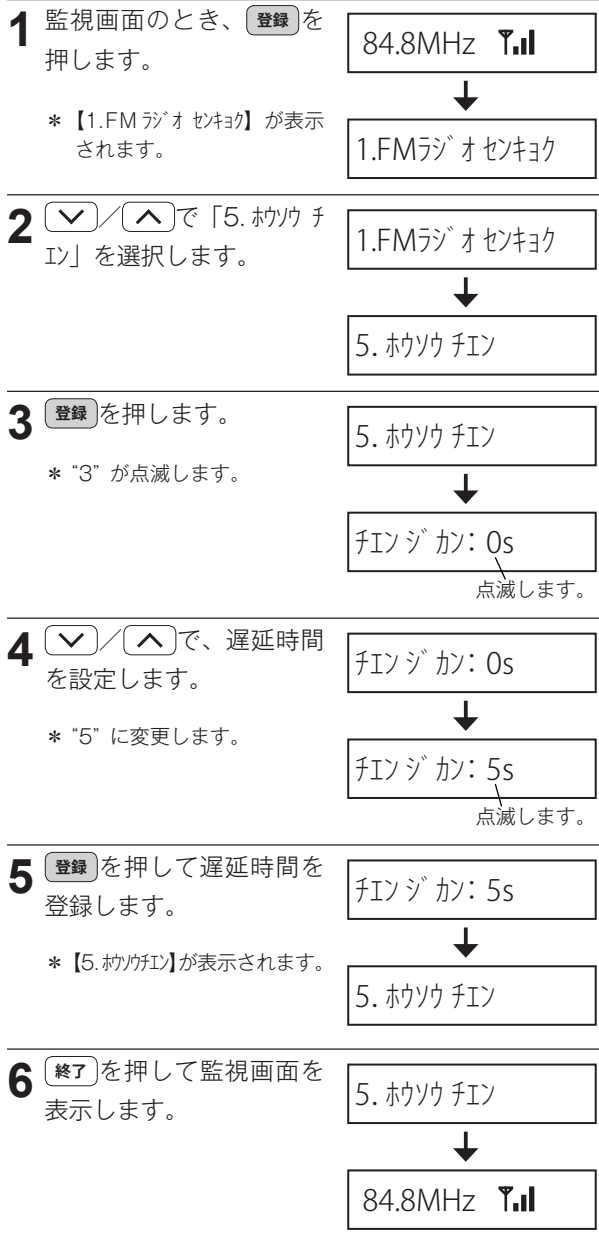
- 本装置には工場出荷時から、以下の報知音と固定アナウンスが録音されています。
- 【報知音】** (NHK 式訓練用音源：約 34 秒)  
 「訓練、訓練、ピロンピロン、ピロンピロン、ピロンピロン、ピロンピロン、これは緊急地震速報の訓練です。」(※)  
 ※ 3 回繰り返し放送
- 【固定アナウンス】** (約 13 秒)  
 「緊急地震速報です。間もなく地震がきます。強い揺れに警戒してください。身の安全を確保してください。この放送は地震避難訓練放送です。」

**遅延時間を設定する**

音源 (ラジオ / アナウンス) を放送するとき、ページングやスピーカアンプの遅延による放送内容の頭切れを回避する遅延時間が設定できます。

・ 選択範囲：0～9 秒 初期値：0 秒

※ 登録例は「0 秒→5 秒」の例です。



**ワンポイント**

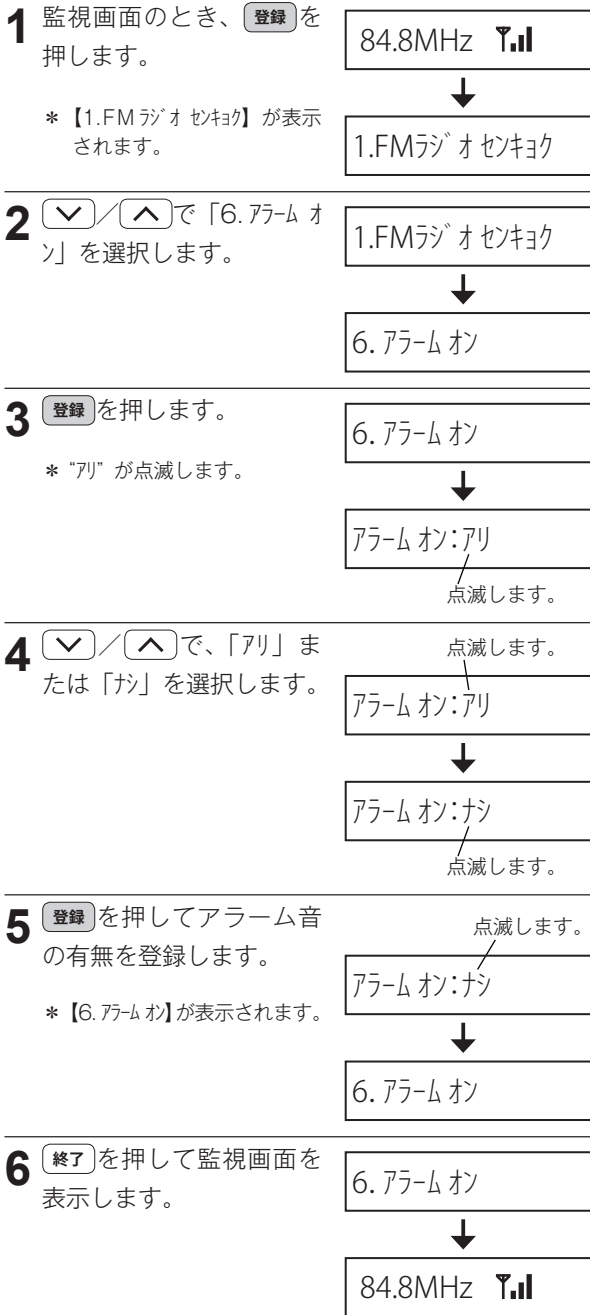
- ページング放送に必要な回線接続の時間が長い場合は、設定した遅延時間よりも遅れて放送されます。

## アラーム音の有無を設定する

各種のアラーム音の有無が設定できます。

・ 選択範囲：ナシ/アリ 初期値：アリ

※ 登録例は「アリ→ナシ」の例です。





# 操作編

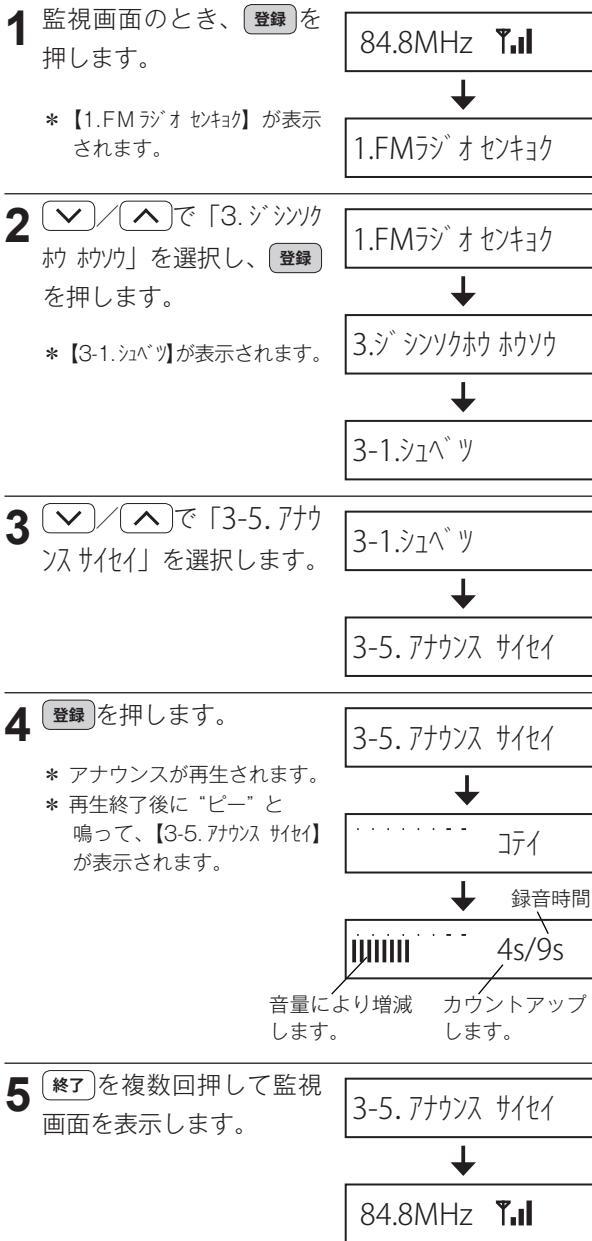
# 再生する

## 地震速報放送アナウンス

地震速報放送用のアナウンス内容を再生します。

・再生時間：最大 60 秒 固定アナウンス：9 秒

※ 操作例は「固定アナウンス (9 秒)」の例です。

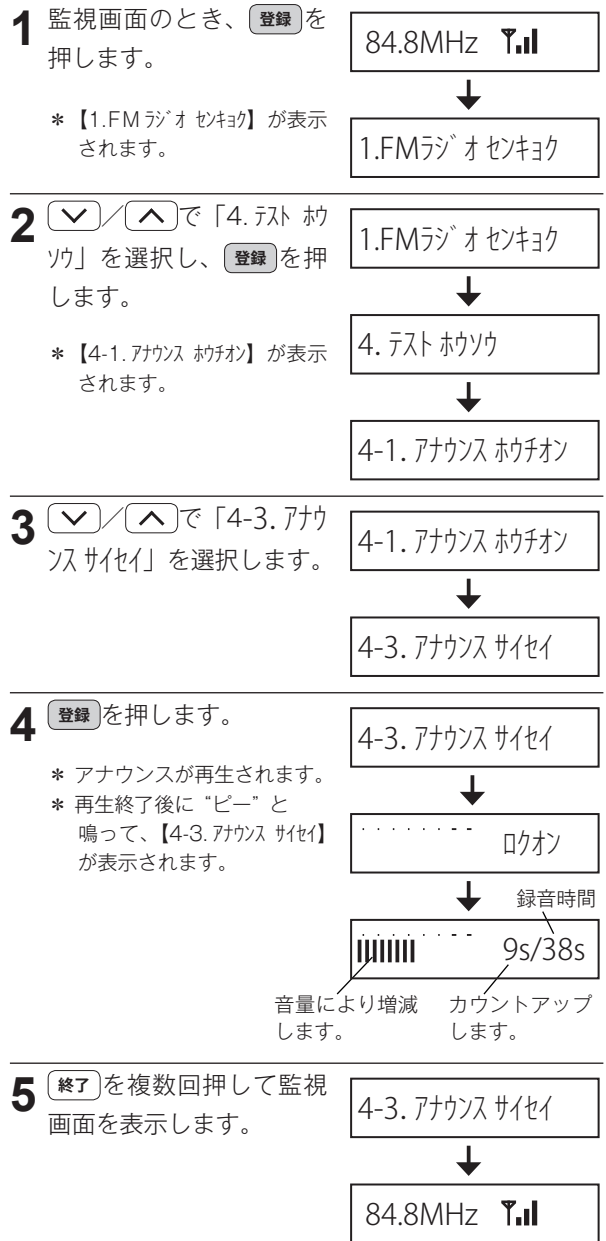


## テスト放送アナウンス

テスト放送用のアナウンス内容を再生します。

・再生時間：最大 60 秒 固定アナウンス：13 秒

※ 操作例は「録音アナウンス (38 秒)」の例です。



### ワンポイント

- 再生中に**終了**を押すと、再生が停止されます。

本装置は、地震速報放送やテスト放送において、あらかじめ設定されている固定アナウンスではなく、独自のアナウンスを録音して放送することができます。独自アナウンスの録音方法を以下に示します。

・録音時間：1秒～60秒

## ワンポイント

- 独自アナウンスではなく、固定アナウンスに戻してご使用になる場合は、「消去する」(31ページ)を参照してください。

## 地震速報放送アナウンス

### ■ 独自アナウンス未録音のとき

- 録音するための外部音源を、本装置のテープ入力ジャックに接続してください。

・接続方法については、「設置・設定編 設置」(10ページ)を参照してください。

- 監視画面のとき、**登録**を押します。

84.8MHz

\* 【1.FMラジオセンキョク】が表示されます。

1.FMラジオセンキョク

- / で「3.ジシソクホウ ホウソク」を選択して、**登録**を押します。

1.FMラジオセンキョク

\* 【3-1.シユベツ】が表示されます。

3.ジシソクホウ ホウソク

3-1.シユベツ

- / で「3-6.アウンス 口ウオ」を選択します。

3-1.シユベツ

3-6.アウンス 口ウオ

- 登録**を押します。

\* 録音準備状態になります。

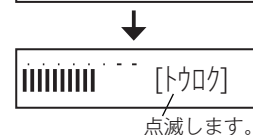
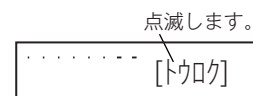
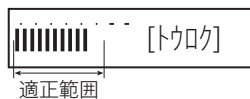
3-6.アウンス 口ウオ

..... [トウロク]

点滅します。

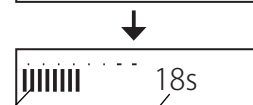
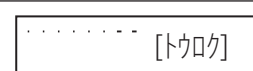
- 外部音源から音源を入力して、録音レベルが「レベル計の見方」に示した適正範囲に入るように入力音量を調節します。

<レベル計の見方>



- 音源を再入力して、**登録**を押します。

\* 録音状態になります。

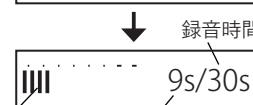
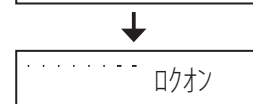
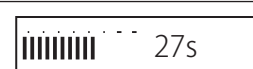


カウントアップします。

- 音源の入力を終了して、**終了**を押します。

\* 録音完了後に「ピー」と鳴って、録音アナウンスが自動再生されます。

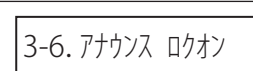
\* 再生が完了すると、【3-6.アウンス 口ウオ】が表示されます。



カウントアップします。



- 終了**を複数回押して監視画面を表示します。




## ■ 独自アナウンス録音済みのとき

**1** 録音するための外部音源を、本装置のテープ入力ジャックに接続してください。

・接続方法については、「設置・設定編 設置」(10ページ)を参照してください。



**2** 監視画面のとき、**登録**を押します。

84.8MHz 



\* 【1.FMラジオセンキョク】が表示されます。

1.FMラジオセンキョク

**3** /で「3.ジソクソクホウホウ」を選択して、**登録**を押します。

1.FMラジオセンキョク





\* 【3-1.シュベツ】が表示されます。

3.ジソクソクホウホウ



3-1.シュベツ

**4** /で「3-6.アナウンスロクオン」を選択します。

3-1.シュベツ



3-6.アナウンスロクオン



**5** **登録**を押します。

3-6.アナウンスロクオン

\* 前回の録音内容の消去確認メッセージを出力します。

ショウキョ:シナイ

点滅します。

**6** /で、スル/シナイを選択して、**登録**を押します。

ショウキョ:シナイ

点滅します。

\* “スル”に変更します。  
\* 前回の録音内容を消去します。  
\* 消去が完了すると、“ピー”と鳴って録音準備状態になります。  
\* “シナイ”を選択して**登録**を押すと、【3-6.アナウンスロクオン】が表示されます。

ショウキョ:スル



シバラクオマチクタサイ

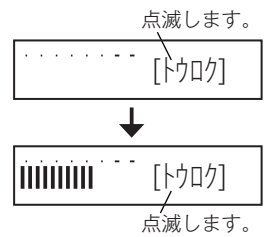
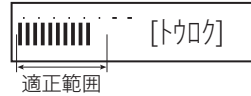


[トウロク]

点滅します。

**7** 外部音源から音源を入力して、録音レベルが「レベル計の見方」に示した適正範囲に入るように入力音量を調節します。

<レベル計の見方>



点滅します。

点滅します。

**8** 音源を再入力して、**登録**を押します。

[トウロク]



\* 録音状態になります。

18s

音量により増減します。 カウントアップします。

**9** 音源の入力を終了して、**終了**を押します。

27s



\* 録音完了後に“ピー”と鳴って、録音アナウンスが自動再生されます。

ロクオン



\* 再生が完了すると、【3-6.アナウンスロクオン】が表示されます。

録音時間  
9s/30s

音量により増減します。 カウントアップします。




3-6.アナウンスロクオン

**10** **終了**を複数回押して監視画面を表示します。

3-6.アナウンスロクオン



84.8MHz 

## テスト放送アナウンス

### ■ 独自アナウンス未録音のとき

1 録音するための外部音源を、本装置のテープ入力ジャックに接続してください。



・接続方法については、「設置・設定編 設置」(10ページ)を参照してください。

2 監視画面のとき、**登録**を押します。

84.8MHz 

\* 【1.FMラジオセンキョウ】が表示されます。

1.FMラジオセンキョウ



3  /  で「4.テスト 枠ウ」を選択して、**登録**を押します。

1.FMラジオセンキョウ

\* 【4-1.アナウンス 枠ウ】が表示されます。

4.テスト 枠ウ

4-1.アナウンス 枠ウ

4  /  で「4-4.アナウンス 枠ウ」を選択します。

4-1.アナウンス 枠ウ

4-4.アナウンス 枠ウ

5 **登録**を押します。

\* 録音準備状態になります。

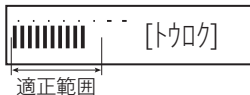
4-4.アナウンス 枠ウ

..... [トウロク]

点滅します。

6 外部音源から音源を入力して、録音レベルが「レベル計の見方」に示した適正範囲に入るように入力音量を調節します。

<レベル計の見方>



..... [トウロク]

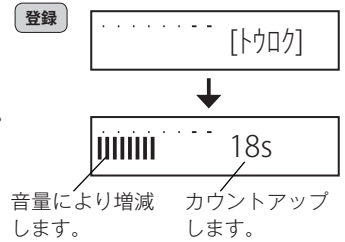
点滅します。

..... [トウロク]

点滅します。

7 音源を再入力して、**登録**を押します。

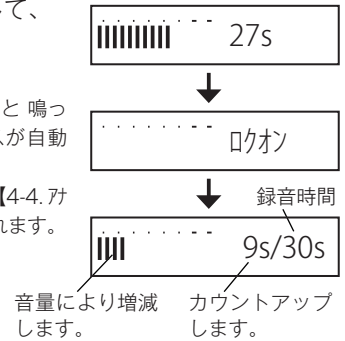
\* 録音状態になります。



8 音源の入力を終了して、**終了**を押します。

\* 録音完了後に“ピー”と鳴って、録音アナウンスが自動再生されます。

\* 再生が完了すると、【4-4.アナウンス 枠ウ】が表示されます。



9 **終了**を複数回押して監視画面を表示します。

4-4.アナウンス 枠ウ

84.8MHz 

## ■ 独自アナウンス録音済みのとき

**1** 録音するための外部音源を、本装置のテープ入力ジャックに接続してください。

- ・ 接続方法については、「設置・設定編 設置」(10ページ)を参照してください。



**2** 監視画面のとき、**登録**を押します。

84.8MHz 



- \* 【1.FMラジオセンキョク】が表示されます。

1.FMラジオセンキョク

**3** /で「4.テスト 杓ヲ」を選択して、**登録**を押します。

1.FMラジオセンキョク



- \* 【4-1.アナウンス 杓ヲ】が表示されます。

4.テスト 杓ヲ



4-1.アナウンス 杓ヲ

**4** /で「4-4.アナウンス 叩カ」を選択します。

4-1.アナウンス 杓ヲ



4-4.アナウンス 叩カ

**5** **登録**を押します。


4-4.アナウンス 叩カ



- \* 前回の録音内容の消去確認メッセージを出力します。

ショウキョ:シナイ

点滅します。

**6** /で、スル/シナイを選択して、**登録**を押します。

ショウキョ:シナイ

点滅します。



- \* “スル”に変更します。
- \* 前回の録音内容を消去します。
- \* 消去が完了すると、“ピー”と鳴って録音準備状態になります。
- \* “シナイ”を選択して**登録**を押すと、【4-4.アナウンス 叩カ】が表示されます。

ショウキョ:スル



シバラクオマチクダサイ

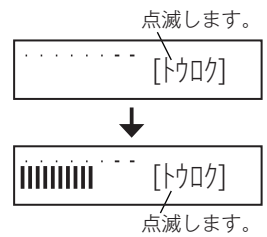
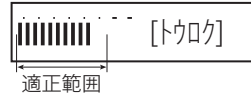


[トウロク]

点滅します。

**7** 外部音源から音源を入力して、録音レベルが「レベル計の見方」に示した適正範囲に入るように入力音量を調節します。

<レベル計の見方>



**8** 音源を再入力して、**登録**を押します。

[トウロク]



- \* 録音状態になります。



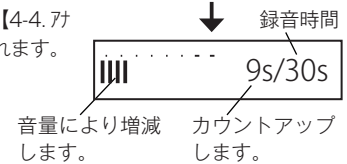
**9** 音源の入力を終了して、**終了**を押します。

27s



- \* 録音完了後に“ピー”と鳴って、録音アナウンスが自動再生されます。
- \* 再生が完了すると、【4-4.アナウンス 叩カ】が表示されます。

叩カ



4-4.アナウンス 叩カ

**10** **終了**を複数回押して監視画面を表示します。

4-4.アナウンス 叩カ



84.8MHz 

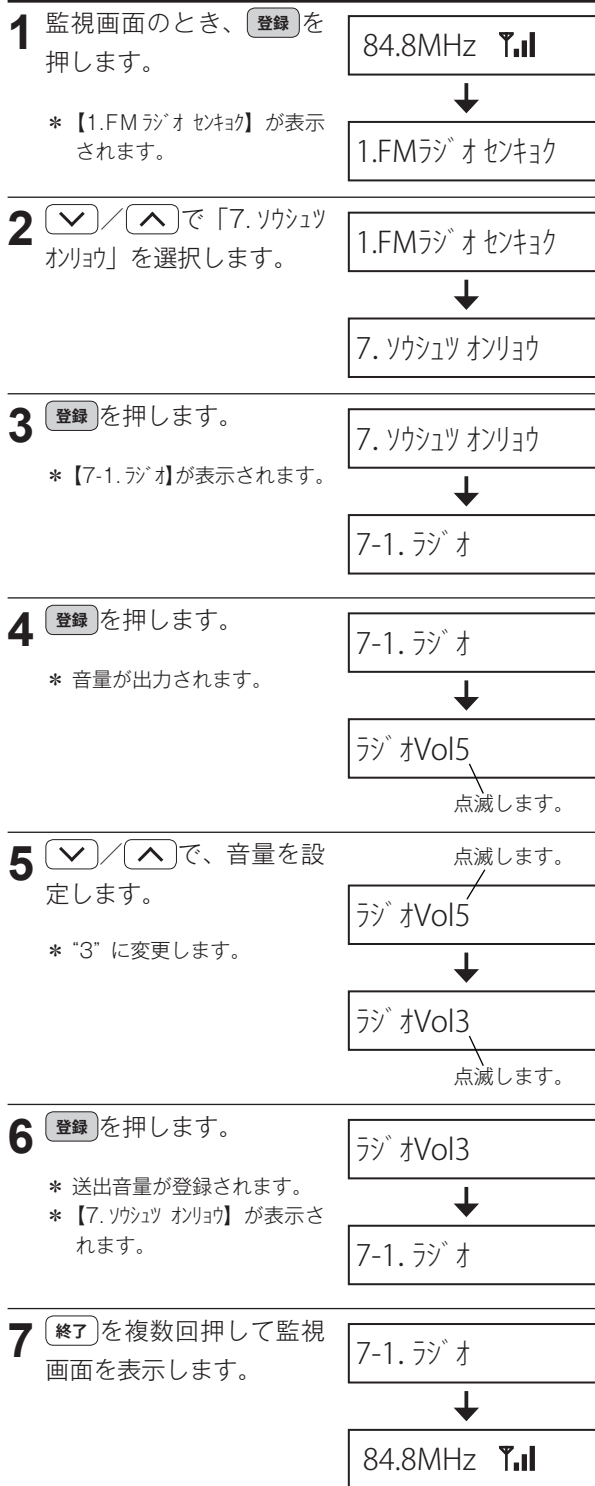
# 送出音量を調節する

音源（ラジオ／アナウンス）を放送するときの送出音量が設定できます。

・ 選択範囲：Vol1～Vol8 初期値：Vol5

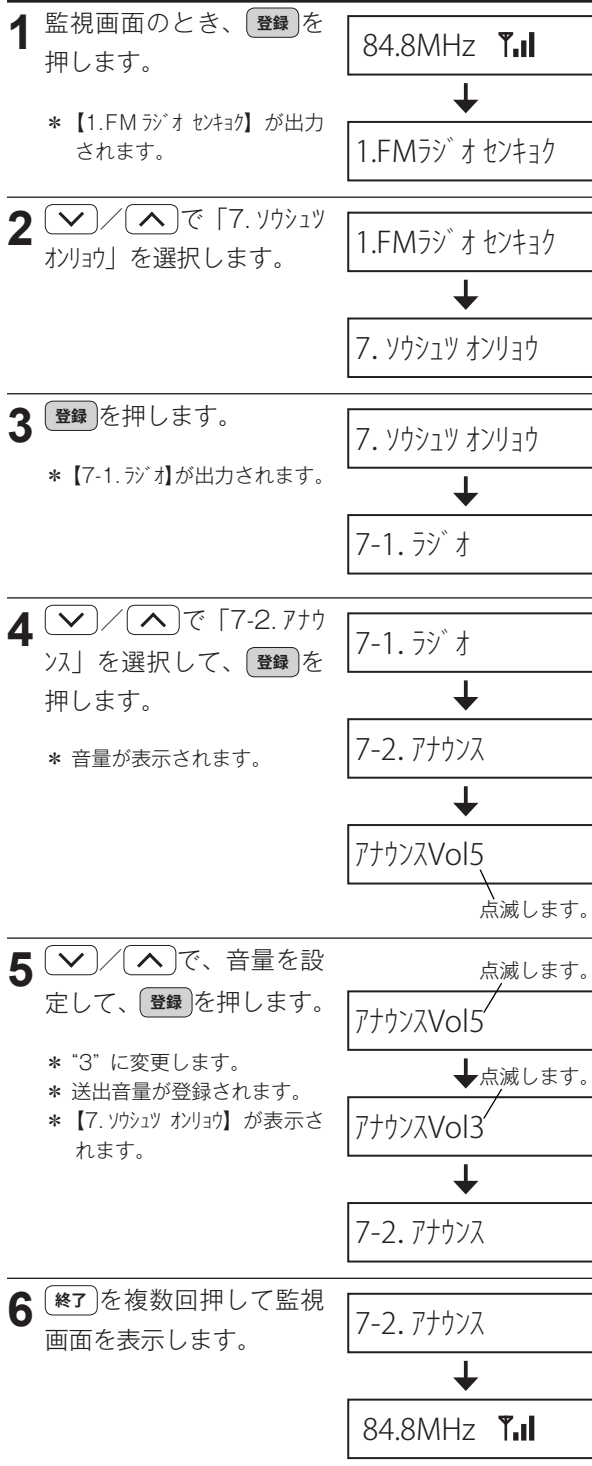
## ■ ラジオ放送の音量調節

※ 登録例は「Vol5 → Vol3」の例です。



## ■ アナウンス放送の音量調節

※ 登録例は「Vol5 → Vol3」の例です。



# テスト放送

本装置に登録されているアナウンスの内容やFM ラジオの放送内容を、放送用アンプや構内交換機に接続された放送設備に送出して本装置が動作するか確認します。テスト放送中は緊急地震速報が検出できないためご注意ください。

## ■ アナウンス放送の確認


※ 表示例は、放送音量が「Vol5 → Vol3」の例です。

1 放送するための出力系統が、本装置に接続されていることを確認してください。

・ 接続方法については、「設置・設定編 設置」(10 ページ)を参照してください。

2 監視画面のとき、**テスト** を押します。

\* 【ホウソウ シュベツ: アナウンス】が表示されます。

84.8MHz 



ホウソウ シュベツ: アナウンス

点滅します。

3 **登録** を押します。

\* 放送種別が登録されます。  
\* 送出する準備が完了すると、放送を開始します。  
\* 送出音量が表示されます。

ホウソウ シュベツ: アナウンス



テスト ホウソウ



テスト ホウソウ Vol5

点滅します。

4  /  で、音量が設定できます。

\* 送出音量の設定については、「送出音量を調節する」(29 ページ)を参照してください。

テスト ホウソウ Vol5

点滅します。

テスト ホウソウ Vol3

5 テスト放送のアナウンス回数分放送が完了するか、**終了** を押すとテスト放送が終了します。

\* 放送音量が登録されます。  
\* 監視画面が表示されます。

テスト ホウソウ Vol3



84.8MHz 

## ■ ラジオ放送の確認

※ 表示例は、放送音量が「Vol5」の例です。

1 放送するための出力系統が、本装置に接続されていることを確認してください。

・ 接続方法については、「設置・設定編 設置」(10 ページ)を参照してください。

2 監視画面のとき、**テスト** を押します。



\* 【ホウソウ シュベツ: アナウンス】が表示されます。

84.8MHz 



ホウソウ シュベツ: アナウンス

点滅します。

3  /  で「ラジオ」を選択します。

ホウソウ シュベツ: アナウンス



ホウソウ シュベツ: ラジオ

4 **登録** を押します。

\* 放送種別が登録されます。  
\* 送出する準備が完了すると、放送を開始します。  
\* 送出音量が表示されます。

ホウソウ シュベツ: ラジオ



テスト ホウソウ



テスト ホウソウ Vol5

点滅します。

5 ラジオ放送のラジオ時間分放送が完了するか、**終了** を押すとテスト放送が終了します。

\* 監視画面が表示されます。

テスト ホウソウ Vol5



84.8MHz 

## ワンポイント


- 手順 4 で変更した音量は、「送出音量を調節する」(29 ページ)で調節した音量に反映されます。
- アナウンス放送の時に、放送用アンプや構内交換機に接続された放送設備にはアナウンス放送が流れますが、本装置の内蔵スピーカからはラジオ放送が流れます。



# 消去する

本装置にあらかじめ設定されている固定アナウンスを使用するために、録音した録音アナウンスを消去します。

**1** 監視画面のとき、**登録**を押します。



84.8MHz 

↓

1.FMラジオセンキョク

\* 【1.FMラジオセンキョク】が表示されます。

## ● 地震速報放送アナウンスの場合

**2** /で「3.ジソクホウホウ」を選択して、**登録**を押します。

1.FMラジオセンキョク



↓

3.ジソクホウホウ

↓

3-1.シュベツ

\* 【3-1.シュベツ】が表示されます。

**3** /で「3-6.アナウンスロウオン」を選択して、**登録**を押します。

3-1.シュベツ

↓



3-6.アナウンスロウオン

↓

ショウキョ:シナイ

点滅します。

## ● テスト放送アナウンスの場合

**2** /で「4.テストホウホウ」を選択して、**登録**を押します。

1.FMラジオセンキョク



↓

4.テストホウホウ

↓

4-1.アナウンスロウオン

\* 【4-1.アナウンスロウオン】が表示されます。

**3** /で「4-4.アナウンスロウオン」を選択して、**登録**を押します。

4-1.アナウンスロウオン



↓

4-4.アナウンスロウオン

↓

ショウキョ:シナイ

点滅します。

**4** /で、スル/シナイを選択します。

ショウキョ:シナイ

↓

ショウキョ:スル

点滅します。

\* “スル”に変更します。

**5** **登録**を押します。

ショウキョ:スル

↓

シバラクオチカタサイ

↓


..... [トウロク]

\* 録音アナウンスを消去します。

**6** **終了**を複数回押して監視画面を表示します。

..... [トウロク]

↓

84.8MHz 

# その他の操作

## ラジオを聴く

選局されている FM ラジオ局の放送が、本装置に内蔵されたスピーカから聴こえます。

- 1 FM ラジオが選局されている状態のとき、**ラジオ**を押します。

84.8MHz 



- \* 内蔵スピーカからラジオ放送が流れます。
- \* 画面右端に“\*”が表示されます。

84.8MHz  \*

点灯します。

- 2 放送を終了するときは、再度 **ラジオ** を押します。

84.8MHz  \*



- \* ラジオ放送が終了します。
- \* 画面右端の“\*”が消えます。

84.8MHz 

消灯します。

### ワンポイント

- 登録操作中に **ラジオ** を押しても、ラジオ放送は聞こえません。
- アラーム中でも FM ラジオが選局されていれば、**ラジオ** を押してラジオ放送が聴けます。
- ラジオ放送中に **登録** を押して各種項目の設定が完了した後は、自動的にラジオ放送が再開します。

## バージョンを確認する

本装置のプログラムバージョンを確認します。アフターサービスの場合など、バージョン情報が必要なときは、次の方法で確認してください。

※バージョンは「Ver.1.0.0」の例です。

- 1 監視画面のとき、**登録** を押します。

84.8MHz 



- \* 【1.FMラジオ センキョク】が表示されます。

1.FMラジオ センキョク

- 2  /  で「8.77MHzバージョン」を選択します。

1.FMラジオ センキョク



8.77MHzバージョン

- 3 **登録** を押します。

- \* バージョンが表示されます。

8.77MHzバージョン



Ver. 1.0.0

- 4 そのままの状態でも 10 秒経過するか、**終了** を押します。

Ver. 1.0.0



- \* 【8.77MHzバージョン】が表示されます。

8.77MHzバージョン

- 5 **終了** を押して監視画面を表示します。

8.77MHzバージョン



84.8MHz 

## ログを確認する

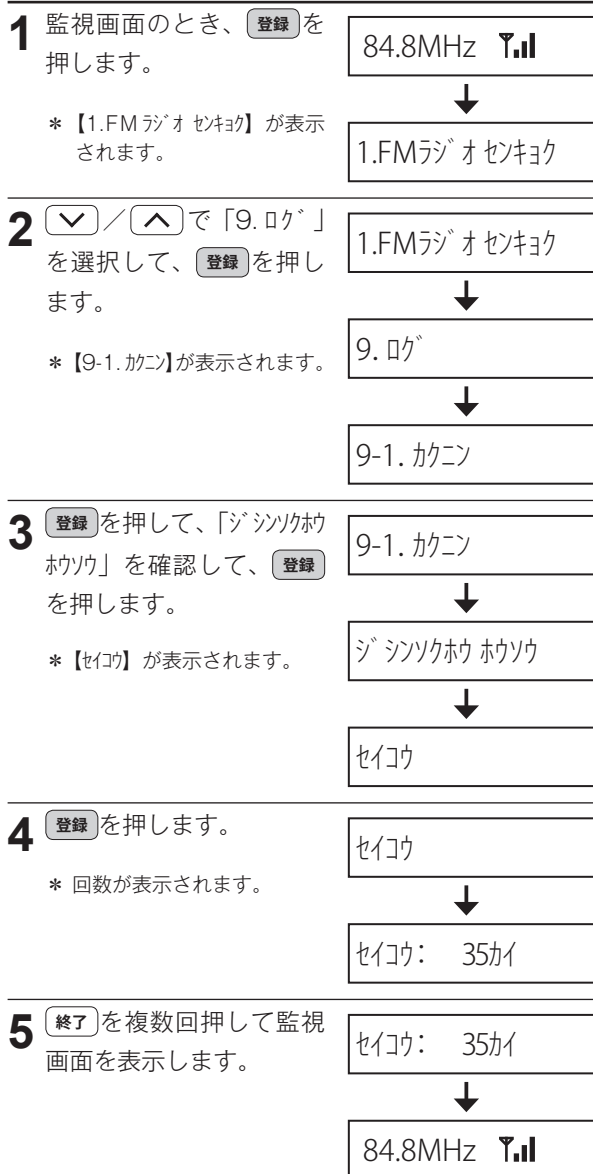
### ■ 地震速報放送

地震速報放送を実施したときの動作ログを確認します。

#### ● 成功回数

地震速報放送が成功した回数を確認します。

※ 操作例は回数が「35回」の例です。



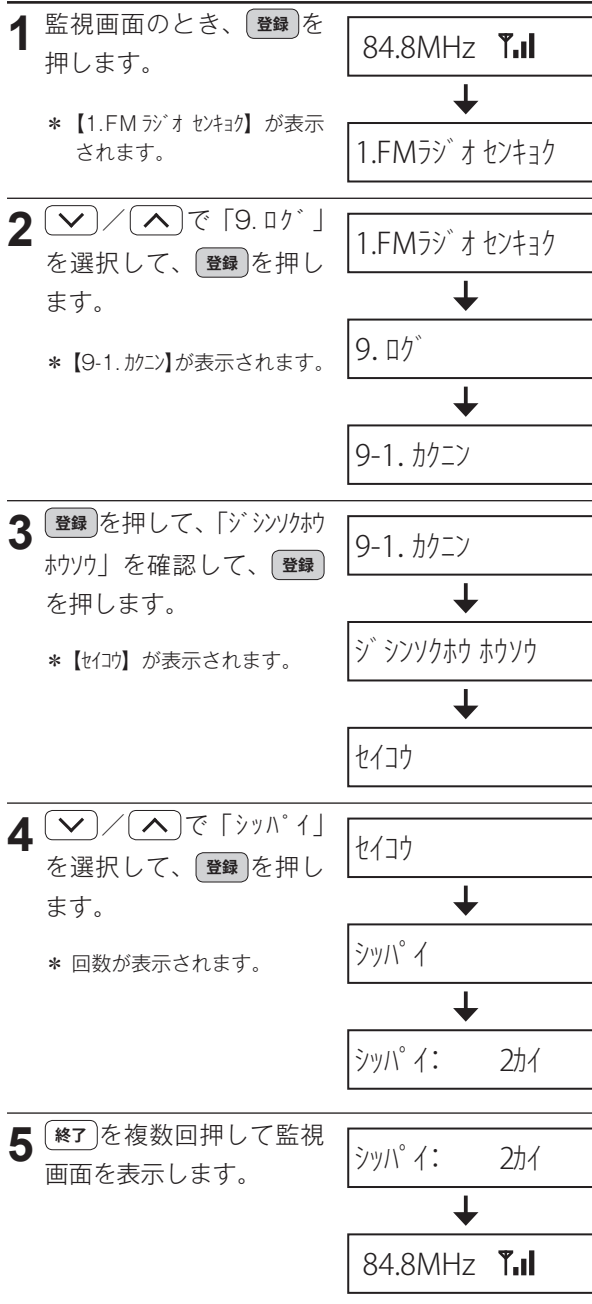
#### ワンポイント

- 地震速報放送が正常に放送された回数が成功回数として記録されます。

#### ● 失敗回数

地震速報放送に失敗した回数を確認します。

※ 操作例は回数が「2回」の例です。



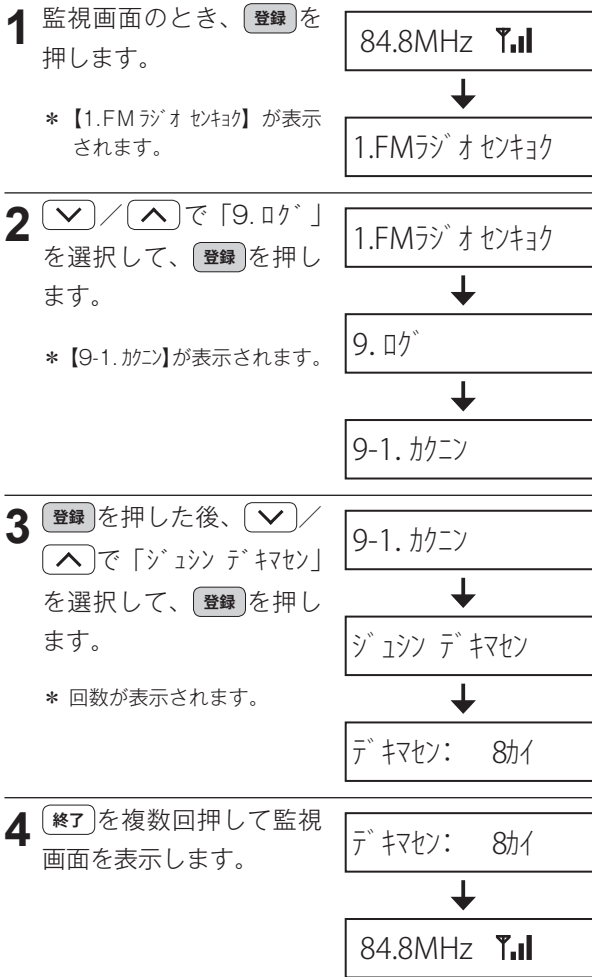
#### ワンポイント

- 構内交換機側のページング放送用の回線が使用中などで、地震速報放送が放送できなかった回数が失敗回数として記録されます。

## ■信号レベル低下回数

選局されたFMラジオ局の周波数の受信状態が悪く、緊急地震速報が受信できない状態になった回数を確認します。

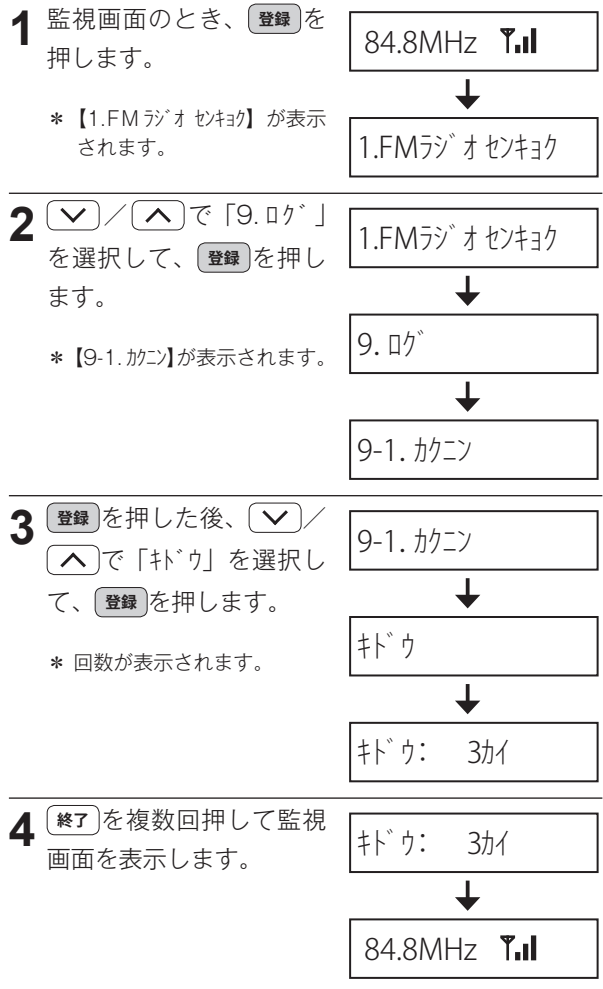
※操作例は回数が「8回」の例です。



## ■本装置の起動回数

本装置が起動された回数を確認します。

※操作例は回数が「3回」の例です。




## ログを消去する

本装置の動作ログをすべて消去します。

- 1** 監視画面のとき、**登録** を押します。

\* 【1.FMラジオセンキョク】が表示されます。

84.8MHz 

↓

1.FMラジオセンキョク
- 2** **▽** / **△** で「9. ログ」を選択して、**登録** を押します。

\* 【9-1. カクコン】が表示されます。

1.FMラジオセンキョク

↓

9. ログ

↓

9-1. カクコン
- 3** **▽** / **△** で「9-2. ショウキョ」を選択して、**登録** を押します。

\* 【ショウキョ:シナイ】が表示されます。

9-1. カクコン

↓

9-2. ショウキョ

↓

ショウキョ:シナイ

↓

点滅します。
- 4** **▽** / **△** で、スル / シナイを選択します。

\* “スル” に変更します。

ショウキョ:シナイ

↓

ショウキョ:スル

↓

点滅します。
- 5** **登録** を押します。

\* 動作ログを消去します。  
\* “ピー” となって【9-2. ショウキョ】が表示されます。

ショウキョ:スル

↓


シバラクオマチクダサイ

↓

9-2. ショウキョ
- 6** **終了** を複数回押して監視画面を表示します。

9-2. ショウキョ

↓

84.8MHz 

# 主な仕様

項目		仕様	備考
チューナー部	FM アンテナ	外部アンテナ接続方式 (F 型コネクタ (75 Ω))	
	チューニング	デジタル方式	
	対象周波数	76.0 ~ 99.9MHz	
録音部	チャンネル数	2 チャンネル (地震速報放送用、テスト放送用)	
	録音可能時間	地震速報放送用 : 60 秒 テスト放送用 : 60 秒	
	録音方式	μ-law 相当	
	録音媒体	内蔵フラッシュメモリ	
	録音入力	ライン入力 (3.5mm モノラルミニジャック : 10kΩ, -10dBV)	
固定音源部	アナウンス	2 種類 (地震速報放送用、テスト放送用)	
	報知音	2 種類 (NHK 式チャイム音、NHK 式訓練用音源)	※ 1
アナログ内線部	収容内線数	1 回線	
	内線種別	アナログ内線 (PB)	DP 非対応
	接続方式	モジュラージャック	
	内線登録数	1	
	内線番号桁数	最大 8 桁 (0 ~ 9, *, #, E(13 種類) の 8 桁の組み合わせ)	
音声部	ライン出力端子	RCA ジャック (600 Ω, -5dBm(Vol.8))	レベル可変機能あり (ラジオ、アナウンス)
外部出力部	端子	ネジ端子 (2 系統)	
	接点仕様	無電圧メーク接点 (接点容量 : DC30V 500mA)	
表示部	ディスプレイ	16 桁 1 行ディスプレイ (バックライト付き)	
	LED ランプ	2 個 (監視ランプ (緑)、アラームランプ (赤))	
操作部	ボタン	6 個 (テスト、登録、終了、ラジオ、↑、↓)	
電源部	電源	入力 : AC100V ± 10V (50/60Hz) 出力 : DC9V (600mA)	専用電源アダプタ
	消費電力	最大 7.5W	
緊急地震速報検知方式		NHK 式チャイム音 (2 回連続受信)	
動作条件	動作時	温度条件 5 ~ 40℃、湿度条件 20 ~ 85%	結露のないこと
	保管時	温度条件 -10 ~ 50℃、湿度条件 20 ~ 85%	結露のないこと
VCCI		クラス B	
RoHS 指令		適合	
外形寸法		幅 190mm × 奥行き 200mm × 高さ 59mm	ゴム足含む
質量		約 650g	

※ 1 本装置で使用する報知音は NHK の著作物です。

# 故障とお考えになる前に

こんなときは	お確かめください	参照ページ
ディスプレイに表示が出ない。	・電源アダプタが電源コンセントから外れていませんか？ ⇒ 本装置と電源アダプタの接続を確認してください。	10,11
ラジオが聞こえない。	・スピーカボリュームは最小 (0) になっていませんか？ ⇒ ボリュームを調節してください。 ・アンテナは接続されていますか？ ⇒ FM アンテナを接続するかアンテナの設置場所を確認してください。 ・FM ラジオの周波数は選局されていますか？ ⇒ 受信可能な周波数を選局してください。	7 10,11 14,15
地震速報放送がページング放送されない。	・アナログ内線は接続されていますか？ ⇒ アナログ内線接続ジャックにモジュラーコードを接続してください。 ・ページング放送のためのアナログ内線は発信専用回線となっていますか？ ⇒ アナログ内線は発信専用回線としてご使用ください。 ・特番は設定されていますか？ ⇒ 特番を設定してください。	12 12 16
放送用アンプから地震速報放送がアナウンスされない。	・RCA ピンケーブルは接続されていますか？ ⇒ AMP 出力ジャックにピンケーブルを接続してください。 ・特番が設定されていませんか？ ⇒ 特番を削除してください。	12 16
地震が発生しているのに地震速報放送がアナウンスされない。	・FM ラジオの周波数は選局されていますか？ ⇒ 受信可能な周波数を選局してください。 ・選局した FM ラジオ局は緊急地震速報を放送していますか？ ⇒ 緊急地震速報を放送している FM ラジオ局を選局してください。 ・他の機器によりページング放送中ではないですか？ ⇒ 他の機器のページング放送を終了させてください。 ・テスト放送中ではありませんか？ ⇒ <b>終了</b> を押してテスト放送を終了してください。	14,15 5,14,15 37 30
<b>登録</b> / <b>終了</b> / <b>ラジオ</b> / <b>テスト</b> などのボタンを押しても操作できない。	・誤操作防止機能が動作していませんか？ ⇒ 操作したいボタンを 3 秒以上長押ししてください。	8

## ● ディスプレイのエラー表示

- ・ 選局した FM ラジオ局の周波数の受信状態が悪いと、右図のように表示します。FM ラジオの周波数設定を変更するか、アンテナの状態や本装置の設置場所を調整してください。
- ・ 特番を設定しているときに回線が接続されていないと、右図のように表示します。構内交換機 (PBX) との回線を接続してください。
- ・ 地震速報放送やテスト放送をしたときに、下記に想定される要因により放送ができないと、右図のように表示します。**終了** ボタンを押して表示を消して、それぞれ有効と考えられる方法により対処してください。

ジ ュ シ デ キ セ ン

カ セ ン ヲ ク

ホ リ ソ ウ デ キ セ ン

想定される要因	有効と考えられる対処方法
本装置のアナログ内線に着信中	アナログ内線は発信専用回線としてください
構内交換機に接続された放送設備が使用中	放送設備の放送を終了させてください

# 保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、放送などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

## 保証書

型名	緊急地震速報電話ページング装置 EDR-200A		
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前	様	
	電話番号	( )	-
	ご住所	〒	
販売店名/住所/電話番号			

## 保証条件

- 1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
- 2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
- 3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
  - ① 保証書の提示がない場合
  - ② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
  - ③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
  - ④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
  - ⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
  - ⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
  - ⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電話線・電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
  - ⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
  - ⑨ 消耗品を交換した場合
- 4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

### 使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター  **0570-03-8811**

受付時間：月～金 9:00～17:30 <土・日曜日、祝日、当社指定休日除く>

### 修理に関するご相談

- 製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社ホームページ <http://www.takacom.co.jp>  
「修理のご依頼」をご覧ください。

株式会社タカコム

検索 

株式会社 **タカコム**

本社・工場 / 〒 509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709